

## 豚インフルエンザについて

### 1. 疫学等

豚インフルエンザは、A型インフルエンザウイルス（豚インフルエンザウイルス）の感染により、通常、豚にインフルエンザを引き起こすが、死亡率は低い。発生は、一年を通して起こりうるが、人の発生と同様、晩秋から冬の期間に多い。

豚インフルエンザで認められるA型ウイルスのタイプは、H1N1亜型、H3N2亜型等が主要なものである。ヒトで通常のインフルエンザを引き起こすH1N1亜型等のウイルスがあるが、異なる株である。

### 2. 人への感染

#### (1) 感染経路

通常、人に感染しないが、豚と直接接触した場合に散発的に感染することがある。

人から人に感染した例の報告もあるが、これまで集団発生には至っていない。

※：米国CDCには、2005年12月から2009年2月までで12例の報告あり

#### (2) 症状

通常のインフルエンザの症状に類似し、発熱、脱力、食欲不振、発咳などがみられる。鼻汁、咽頭痛、吐き気、下痢がみられることがある。

#### (3) 診断

発症後4～5日以内に上気道からの検体を採取して実施する。

豚インフルエンザウイルスであることは、遺伝子検査等で確認する。

#### (4) 治療

抗インフルエンザ薬の投与（今回米国で検出されたウイルスでは、オセルタミビルやザナミビルの投与が推奨されている）

※：アマンタジンやリマンタジンへの耐性が認められている。

#### (5) 予防

現在、ヒト用のワクチンはない。

(参考資料：米国CDCホームページ)